



校長 指崎 邦久

朝6時ごろにはあたりが明るくなり、春の訪れが近いことを感じます。子供たちは、寒さが残る中、元気に登校しています。ランドセルに版画の板を挟んで登校する様子から、学習へ向けてのやる気を感じます。「おはようございます」と挨拶をした後、友達を見つけてうれしそうに走っていく姿を見ていると、友達と仲よく過ごしている教室の様子が目に浮かびます。

子供たちは、学年のまとめや進級への準備に向けて、生き生きと活動しています。学習時には、集中して鉛筆を走らせる様子を目にして、うれしく思っています。

先日の学習参観及び、育友会全体役員会にはたくさんの方に参加していただきありがとうございました。学習参観では、子供たちが張り切っていたと聞いています。4月からの成長をご家庭の方と一緒に感じることができればうれしいです。

2月もあっという間に過ぎ去りそうです。1日1日を大切にして、自分の成長を振り返り、自信をもって学校生活を送ってもらいたいと思っています。



学習参観の様子

待っています -入学説明会-

2月7日に、入学説明会を行いました。1年生が、「新1年生となかよし集会」を開き、次年度の新入生に向けて学校生活の説明をしました。登校時や朝の会、授業の様子を説明しました。実際に縄跳びを跳んで見せました。また、みんなで貨物列車をしました。1年生も新入生も、あっという間に笑顔になっていました。4月の入学を、今の1年生を始め、全校で待っています。

保護者のみなさんに話をする機会があったので、次のように話しました。

- 担任とよい関係を築いてもらいたい。
- 担任とお子さんの思いが一致していると教育効果が大きくなる。
- 子供には発達段階がある。信じながらも心配してもらいたい。
- お子さんと学校の話が違うときもあるかもしれない。そのときは、お子さんの話と学校の話聞き、お子さんの気持ちを受け入れながら客観的に話を聞いてもらいたい。

話をした後、今年度の子供たちの成長は、ご家庭の深い理解と、温かいご協力のおかげだと改めて思い返しました。ありがとうございました。



新1年生となかよし集会

スキー学習 - 5・6年生 -

1月29日(水)に6年生、2月10日(月)に5年生が、イオックスアローザスキー場へスキー学習に行ってきました。

6年生は、昨年度の経験を生かして、準備をてきぱきとして活動に臨みました。スキーの感覚が残っていたのか、講習を受ける中で、どんどん思い通りに滑ることができるようになっていきました。小学校生活の中での、楽しい思い出になってくれるとよいです。

5年生の中には、初めてスキーをする子供がたくさんいました。スキーブーツをはくことに時間がかかる子供もいました。しかし、どの子供も、明るく前向きに取り組みました。慣れないブーツをはき、足元が滑り出してしまう中、インストラクターの方の話を一生懸命に聞き、少しでも教えてもらったことを滑ることができる子供が増え、リフトに乗るようになりました。難しいことに挑戦し、克服した姿を見て感心しました。



にこにこ集会

1月30日に、給食委員会、放送委員会が児童集会を行いました。

給食委員会は、クイズを通して、給食の食材には、氷見産の食材が多く使われていることや給食の献立は、栄養のバランスが考えられていると発表しました。

放送委員会は、放送を聞くことの大切さを実際にありそうな場面を劇にして、発表しました。分かりやすく、楽しく学べるように、恥ずかしがらず堂々と発表する姿に感心しました。



なわとび大会

2月20日に、運動委員会がなわとび大会を行いました。

二重跳びのチャンピオンや、大縄で8の字跳びを一番多く跳ぶクラスを目指して競いました。二重跳びは、6年生が2分以上跳び続けて、チャンピオンになりました。クラスごとに、大縄をより多く跳べるように挑戦した際には、これまでで一番よい記録を出して、手をたたいて喜ぶ子供たちや「がんばれ」と声をかける子供たちがいました。

大縄を跳が近付いてきた子供は、少し不安そうな表情や、普段通りの表情といろいろな表情を見せていました。しかし、跳ぶ間際には、全ての子供の表情が覚悟を決めたような引き締まったものに一瞬にして変わり、跳び終えたときにはほっとしたような表情になっていました。



どちらの集会も、一生懸命に取り組み、心が動いた、よい体験になったと感じています。